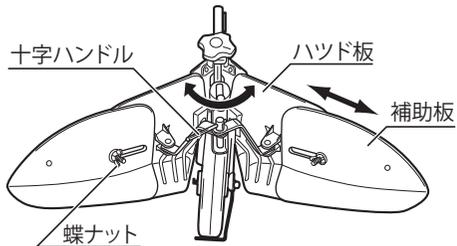
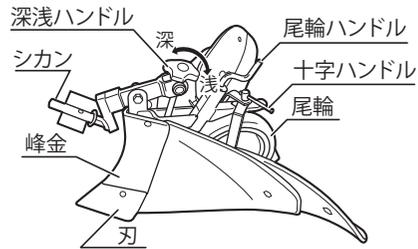


●使用方法

1. 培土器の峰金が地面と水平になるように、深浅ハンドルを回してください。
2. うね立てを行ない、うねが浅いときには深浅ハンドルを左に、うねが深すぎるときには右に回し、作りたいうね高さに調整してください。
3. うねの間隔は、培土器の十字ハンドルをゆるめ、ハツド板の開閉を行ない調整してください。
また、蝶ナットをゆるめ、補助板を前後に動かしても調整できます。
4. うね高さ、間隔がほぼ調整できましたら、尾輪が地面にあたるように尾輪ハンドルを調整してください。





- ・うね間の中耕、培土を同時に行なう場合、および狭いうね間を培土する場合は、別販売品の中耕車輪を併用して作業をしてください。
- ・粘土質の田畑などでは使用しないでください。駆動部（モーター／エンジン）に負担がかかり、故障の原因になります。



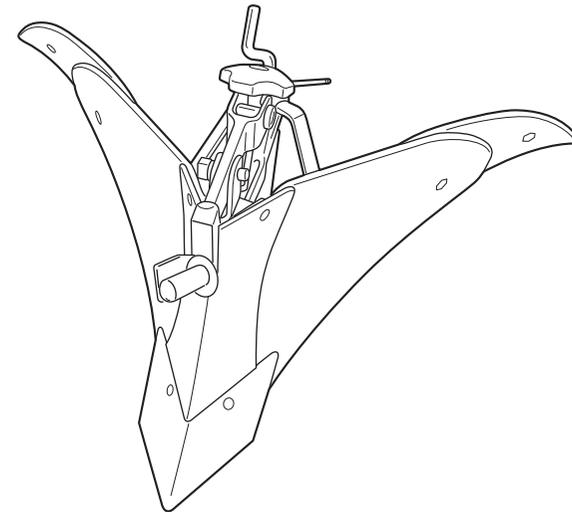
部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

カルチベータ用培土器

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書および取付けるカルチベータの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社
広島県福山市松浜町 2-2-54 ☎720-0802
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp>



商品のお問い合わせ窓口

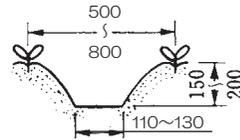
ナビダイヤル **0570-666-787**
受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで

—— もくじ ——

- ・仕様・用途・適用機種 …………… 1
- ・適用機種と使用できる培土器 …………… 1
- ・取付方法 …………… 2
- ・使用方法 …………… 3

●仕様

- ・ 峰金高さ 200mm
- ・ 刃先幅 110mm
- ・ ハツド板開閉範囲 460～700mm



●用途

- ・ うね立て（作物栽培のため、直線上に土を盛り上げる）
- ・ 培土（うねを形成したり、作物の根元に土を寄せる。）

●適用機種

- ・ カルチベータ ACV-1500, RCVK-4300, RCV-3410

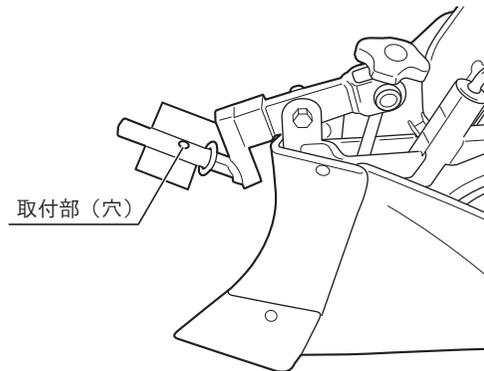
●適用機種と使用できる培土器

適用機種	機番 (a) ※1	機番 (b) ※2
ACV-1500	～No.5400	No.5401～
RCVK-4300	～No.6730	No.6731～
RCV-3410	～No.1300	No.1301～
培土器 コードNo. (取付部の穴径)	6091062 (8.5mm ※3)	60900077 (6.5mm ※3)

※1 機番 (a) の機種の場合、培土器 (60900077) は取付けできません。
お買い上げの販売店へ培土器 (6091062) の交換をご相談ください。

※2 機番 (b) の機種の場合、培土器 (6091062) を使用すると、取付部が破損する
おそれがあります。培土器 (60900077) の交換をご相談ください。

※3 培土器のコードNo. が分からない
場合には培土器取付部の穴径で
ご判断いただけます。

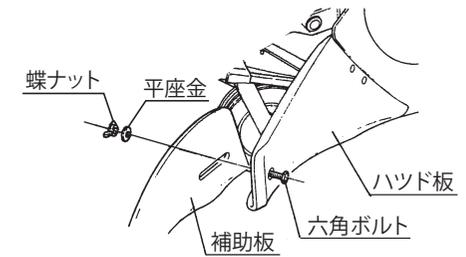


●取付方法

⚠ 警告

- ・ 培土器の取付け、取外しや調整の際は、必ずカルチベータを停止してください。

1. 補助板をハツド板に取付けます。同梱の六角ボルト、平座金、蝶ナットで取付けてください。



2. 本機から抵抗棒を取外します。
取付けるカルチベータの取説を参照ください。

3. 抵抗棒支持ピンを矢印①の方向に引いたまま、培土器のシカンの本機のヒッチにさし込み、穴位置を合わせ、抵抗棒支持ピンを放し固定します。

